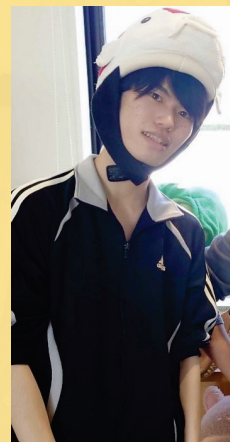


Introduce

新キャプテンのあいさつ

初めまして。2023年度後期から2024年度前期にかけての研究室キャプテンを拝命しました佐藤景也と申します。出身校は群馬工業高等専門学校です。私は高専5年生の頃から研究や学会でこの地震工学研究室にお世話になっており、当時の自分の目からは、この「研究室キャプテン」という役職はとても大人らしく頼もしく見えていました。光栄なことに、その研究室キャプテンに今自分が就こうとしています。それにはまだまだ自身の成長が必要だと感じております。仲間の手を借りながら、無理のない範囲で頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、先輩方は研究室を卒業し、社会人として仕事や趣味に励んでおり、時には心身ともに疲れることもあるかと存じます。そのような時は、このニュースレターを読んで学生時代の思い出に浸ることで、一息ついていただければ幸いです。最後になりますが、皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



メンバー紹介と研究テーマ・実務訓練先

M2

大矢 永遠

「2種類の物理探査法を用いた地盤特性の評価」

木村 宥斗

「震源モデル化が強振動に及ぼす影響の定量的評価」

安井 宏樹

「地震被害想定の高高度化・高精度化に関する研究」

M1

北園 和磨

「スマート地震計を用いたインフラモニタリングシステムの基礎的検討」

佐藤 景也

「実観測記録に基づく表層地盤の非線形増幅特性の検討」

柳 洸聖

「個別要素法を用いた液状化要素試験のエネルギー特性に関する研究」

D3

渡邊 祥庸

「斜面災害における被災箇所の予測とICT技術による復旧設計の効率化に関する研究」

B4

<実務訓練先>

安達 和希

「パシフィックコンサルタンツ株式会社」

齊藤 竜也

「株式会社オリエンタルコンサルタンツ」

西尾 陽丸

「日本工営株式会社」

武藤 夏歩

「株式会社日建設計」

<課題研究テーマ>

ツォグトバヤル ニヤムトヤ (ナナ)

「MEMS加速度センサーADXL355のノイズ・振動特性の基礎的検討」

Events

東京大学駒場リサーチキャンパス公開

6月10日、東京大学駒場リサーチキャンパスに参加しました。キャンパス公開では、普段立ち入ることのできない研究所内部の見学や、様々な研究の紹介が行われ、貴重な経験をすることができました。私が特に印象に残っているのは、環境風洞実験室での疾風体験です。風速10mを体験しましたが、予想より強風で息が苦しかったです。また、中庭にいた地方のゆるキャラとの写真撮影や食堂で食事をするなど、楽しい時間を過ごしました。(武藤)



長岡花火

長岡花火に研究室の仲間と行って、本当に楽しい時間を過ごしました。花火が打ち上げられる瞬間みんなで「わあ！」と歓声を上げたり、美しい花火の色や形に感動しました。特に、音楽に合わせて打ちあがる花火は圧巻で心が躍りました。研究室の仲間と一緒にいると、笑顔と幸せが溢れました。

長岡花火は、美しい花火だけでなく研究室の仲間との素晴らしいひとときを体験し、友情を深められた忘れられない思い出でした。(ナナ)



Activities

柏崎刈羽原子力発電所見学

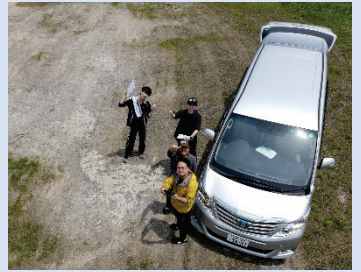
7月8日に柏崎刈羽原子力発電所を見学しました。見学では、原子力発電の仕組みや運転のプロセス、災害時の安全対策、環境配慮などについて勉強することが出来ました。再稼働に向けて実際現地では新たに耐震補強工事や防波堤の施工など、お金・時間・人を使い試行錯誤しながら対策を行っていることが分かりました。

原子力発電所のセキュリティーは非常に厳しく、原子力発電所の危険性や重要性などを肌で感じる事ができました。(北園)



旧山古志村踏査

6月17日、今年も山古志村の現地調査に行きました。中越地震により山古志の被害が甚大だったことは知っている方も多いかと思いますが、今年は池田先生が不在だったので、いわゆる案内役のいない中での調査でしたが、10か所以上のポイントを巡りながら当時の写真と見比べたり、ドローンを用いて上空から規模を確かめたりなど、実際の足で現地を歩くことで、当時の被害規模や影響、現在の様子を肌で感じる事ができました。(柳)



オープンキャンパス

初めての開催で、「振動台による地盤の液状化体験・過去の研究紹介」を実施しました。幅広い参加者が新潟市の高校生や秋田高専の学生などに訪れていただき、地盤工学や地震・災害軽減研究への関心が高い学生に研究室全員で対応しました。

今回の企画は簡易な液状化実験まででしたが、来年は振動台のプロとなる志賀先生と北園実行委員長の素晴らしいアイデアで楽しく充実した企画を実現できることを願っています。

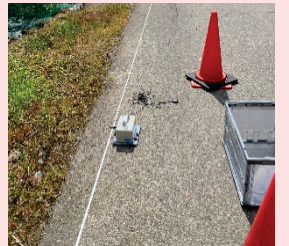
(木村)



武道窪調査

2023年8月7日に私の研究対象である新潟県川口町武道窪に調査に行ってきました。調査内容は微動探査を行うというもので、約50地点を微動計4台を使って行いました。

当日の長岡市の気温は36.1度を記録しており、日向で計測していた学生の体感温度は気温以上になっていたことでしょう。調査に協力していただいた学生には感謝してもきれません。この経験が後輩の今後の研究活動により良い影響を与えられたらと思います。(大矢)



EELコラム

Duさん 卒業 日本での学びを振り返って



Studying at the Earthquake Engineering Laboratory, Nagaoka University of Technology, has truly been a life-changing experience for me. Despite the many challenges I have faced, the rewards of this experience have been immeasurable. As an international student, adapting to new cultural norms was one of my biggest hurdles. However, this experience has allowed me to broaden my horizons and learn about different ways of life. I have had the opportunity to explore Japan and learn about its rich history and culture, in addition to attending classes. The relationships I have built with my lab members have been one of the most fulfilling aspects of my experience. They have not only been my colleagues but have also become my trusted friends. They have supported me in navigating the complexities of Japanese life and have made me feel welcome in a foreign land. The Japanese education system is known for being rigorous and competitive, but the professors and staff at Nagaoka University of Technology have always provided me with the support and resources needed to succeed. Through a wide range of classes and research opportunities, I have been able to improve my study skills, critical thinking, and creativity. Overall, my time at EEL, Nagaoka University of Technology has been an enriching experience that has helped me grow both personally and academically. I am grateful for this experience and look forward to the future. (Du)



あとがき

だんだんと研究室に慣れてきました。10月からは実務訓練が始まるため、実務先での経験を生かせるよう頑張ります。(B4 安達)
研究室のイベントが多くて楽しかったです。もっと早く所属して卒業生の皆さんともイベントと一緒に楽しみたいかったです。(B4 齊藤)
卒業された先輩方も研究室を懐かしんでいたいただけたら幸いです。制作に協力いただいた皆さんもありがとうございました。(B4 西尾)
ニュースレターはいかがだったでしょうか？今後も様々なことを経験して、皆様にお伝えできたらと思います。(B4 武藤)
メンバーの成果を紹介し、先輩方に研究室の最新情報を共有することができてうれしいです。(B4 ナナ)